

水産業の厳しさや温かさを知って頂く

水揚荷捌施設落成式



祝 水揚荷捌施設・漁船員休養施設 落成式



CONTENTS

新連載 第1回 海幸彦-UMISACHIIHIKO-

FISHING POLITICS

漁政



お魚料理講習会 (宮崎農業高校)

漁村・漁業体験短期研修

かつお・まぐろ

漁業対策推進道県協議会開催

石油・天然ガス音波探査のお知らせ

FISHERY MANAGEMENT

漁協経営情報



平成21年度漁協税務研修会

平成21年度漁協初級職員研修会

BUSINESS

業務情報



系統石油タンク施設調査

宮崎県漁協系統購買事業推進委員会
委員・幹事合同会議

FISHERIES CO-OPERATIVE

漁連情報



水揚荷捌施設落成式

役員候補者推薦委員選出協議会

限定生チリメン定食

釜揚げちりめん丼定食登場

FISHERIES EXPERIMENT

水産試験場



平成21年度水産試験場研究成果
発表会開催 —研究企画—

11月の動き (県関係)

RELATED ORGANIZATION

関係機関



無線従事者募集

漁青連幹部移動研修会

青い羽根募金感謝状伝達式

宮崎県漁協職連ボーリング大会

11月の動き

水産宮崎ダウンロードサービス

※必要な方はコチラから A4 サイズで出力出来ます。

今月号より海幸彦と題して県内漁業者の取組みなど生の声をお伝えします。

宮崎一口あわび浦の恵



穏 やかな入り江に点々と養殖イカダが浮かぶ延岡市須美江湾。夏は海水浴や海のレジャーを楽しむ人たちが賑わう海岸です。オレンジ色のブイを目印に進む船べりからのぞき込むエメラルドグリーンの海は、透明度が高く、水深5~6mのところ吊された一口あわびの養殖カゴもくっきり見えています。平成21年4月に、宮崎県水産物ブランド品第8号認定を受けた「宮崎一口あわび 浦の恵」は現在6業者が浦城湾と須美江湾で養殖を行っています。





◎ 今月の海幸彦

JF延岡市浦城支所長 岩切幸二さん

一口あわび養殖グループのみなさん(会長・甲斐寿夫さん[民宿紺碧]、甲斐進さん、高田泰壮さん[延岡水産開発])

■「宮崎一口あわび 浦の恵」の養殖は、難しいですか？

漁に出るよりはるかに作業は楽で、管理も簡単です。アワビは夏の高水温が苦手なので、その時期に気をつければ、寒くなれば元気になってどんどん大きくなります。作業は、イカダに吊したカゴを週1回程度引き上げて、カゴを掃除して、餌の海藻を入れるだけです。



■稚貝はどこから？

愛媛から取り寄せています。届いた時は、孵化して約2年、殻の長さが2.5cmぐらいです。養殖グループは平成15年から活動を始めていて、最初はうまくいかずあちこちに視察に行きました。その時に愛媛でいい出会いがあって、今につながっています。

■稚貝から出荷までの期間は？

10カ月から2年です。殻の長さが5cm以上10cm未満なので、成長を見ながらです。



■なぜ10cm以上に育てないんですか？

宮崎県は条例で10cm以下の天然アワビを捕ってはいけないことになっています。ですから、10cm以上に育てると、天然ものと競争することになるという訳です。何といても一口あわびは、小さいから身が柔らかくておいしいんです。

■エサは何を食べますか？

コンブとワカメです。乾燥ものを仕入れます。今年から私たちも海藻の養殖を始めたんです。海藻が育つと海の環境がよくなりますからね。



海幸彦
インタビュー
ビュー

■浦城、須美江がアワビの養殖に向いている理由は何？

もともと天然のアワビが棲んでいる海なんです。それがエサの海藻が減り、アワビが減ってしまいました。今は、エサをやることで育てていますが、今後は環境が少しでも回復するような取り組みを考えていきたいです。

■「宮崎一口あわび 浦の恵」のいいところを教えてください。

養殖の良さは、同じサイズのをたくさん欲しいというニーズに応えることができること。例えば結婚式の料理など、サイズが同じでないと困りますからね。また、寿司のネタにするにも、小さいので使い切りができます。柔らかくて味もいいので、喜ばれます。やっぱり生がおいしいですよ。

■今後の期待、楽しみはありますか？

ここまでで生産率は実証できたので、これからどんどん生産量を増やしていきたいですね。今はまだ活魚槽などの設備が整っていないので、小売りをすることができませんが、料理屋からは次々に問い合わせがあります。水産品ブランドにも認定されて、作れば売れる手応えがあります。経営面からいうと、今の巻き網や定置網を続けながら、その合間にできるので、リスクが少ないんです。しかも、管理は割と簡単ですから、誘いやすいですね。副業として呼びかけ、仲間を増やしたいです。



次回の海幸彦は…
漁獲量日本一！近海かつお一本釣漁船
最年少船頭 岩切 淳氏



Yoshimoto Decorative Arts
http://www.yoshimotokougei.co.jp

心 美

- ・屋内外総合広告看板
- ・インクジェット出力
- ・イベント会場デザイン制作
- ・カットインク切文字制作
- ・レーザー彫刻
- ・ディスプレイ

〒880-0852 宮崎市高洲町51-4
Tel:0985-25-2971 Fax:0985-27-4144

吉本工芸有限会社

お魚料理講習会（宮崎農業高校）



去る11月10日(火)宮崎農業高校において、生活文化科40名の生徒を対象に本会職員を講師としたお魚料理講習会を開催した。

カツオの頭・内臓をとる際には声があがったが、興味深く見詰め、班での調理では悪戦苦闘しながらも楽しそうに調理をしていた。卒業後は、進学の外、飲食関係に進む生徒もいることから今回の講習では、衛生管理についても指導を行った。

今回は、かつおのたたき・かつお飯・かつお腹身の塩焼きを調理、全員でおいしくいただいた。生徒たちへのアンケートによれば魚は健康によく、DHA・EPAが豊富、週に2・3回食べるが、骨が多く臭いがあるので料理が面倒であるという答えがあった。

しかし今回の講習を受け、食べる回数を増やしたいと思った生徒も多かった。

魚離れは全国的に進んでおり、深刻な問題となっている。病気に負けない強い体を作る為にも多くの方に魚を食していただけるよう、魚食普及に努めたい。

漁村・漁業体験短期研修



宮崎県の漁業就業者数は、高齢化や後継者不足から年々減少を続けており平成20年度の漁協組合員数は3,889人となっている。漁業就業者の減少は、新鮮で安全な水産物の供給を行う漁業と漁村の活力を低下させることから、国・県及び関係団体は担い手育成支援対策に取り組んでいる。

今回、実施した「漁村・漁業体験短期研修事業」は、漁業後継者の確保を目的として、U・Iターン者を漁業地域に受け入れるきっかけ作りとして始められた。

研修は、今年度で9年目になるが、毎年、県内外からの問い合わせが多く、漁業への関心の高さが感じられる。今回の研修では、11月16日から20日の5日間、(有)神代丸水産(JF日向市)での定置漁業に3名が参加され、神代丸水産の皆様より網作業から漁獲物の選別まで丁寧な指導をしていただいた。また、作業の合間や作業終了後のミーティング時に色々とお話を聞いたことで、漁業の厳しさや人柄の温かさを感じることができた。



FISHING POLICY

かつお・まぐろ漁業対策推進道県協議会開催

かつお・まぐろ漁業対策推進道県協議会(会長 伊藤祐一郎)では、11月19日に日本かつお・まぐろ漁業協同組合会議室において平成21年度通常総会を開催し、平成20年度の事業報告、21年度の事業計画及び、かつお・まぐろ漁業に関する要望事項を決議し原案通り承認決定した。また任期満了に伴う役員改選では現役員が留任することが決定された。翌20日に農林水産大臣はじめ水産庁長官、財務省主計局並びに各道県選出国會議員に対し要望活動を実施した。要望内容は次の通り

1 資源及び漁業管理体制の推進

1. 「中西部太平洋まぐろ類条約(WCPFC)」水域における台湾資本を初めとするまき網漁業の漁獲能力の早急な抑制・削減及び資源に影響を与える禁止漁業(外国の大目流し網漁業等)の取締強化
2. WCPFC北部水域におけるカツオ・マグロを漁獲するまき網漁船に対するVMSの早期導入及び資源状況等を考慮した国による漁業調整の円滑な推進
3. 各地域漁業管理機関が定めた漁獲枠及び操業規制の確実な履行のための監視体制の構築
4. 若齢マグロ類を大量に混獲する集魚装置(FADs)を使用した操業の抑制及び早急な混獲回避技術の開発・普及
5. 国際規制逃れのための台湾等の小型まぐろはえなわ漁船(24メートル未満船)に対する管理の強化
6. 畜養・養殖用マグロ種苗の無秩序な漁獲を禁止する国際的な資源管理体制の構築、畜養・養殖用マグロの正確な数量把握など管理技術の開発・普及
7. 漁業経営が維持・存続できるような漁獲枠の確保
8. 大西洋クロマグロ及びサメ類がCITES(ワシントン条約)において国際取引や公海からの持ち込みの禁止の対象種とならないように日本が先導的役割を果たすとともに、科学的な調査に基づくサメ資源の持続的利用促進と国際的な資源管理体制の構築
9. 海亀・海鳥の偶発的漁獲に対する科学的な調査に基づかない過激な国際環境保護団体の圧力に対する適切な対応
10. 地域漁業管理機関が定めた国毎の漁獲枠を超えた漁獲物の輸入禁止措置
11. 水産庁による輸入マグロ類の水揚検査等、不当搬入を防止するための監視体制の拡充
12. 国内外の中古まぐろ漁船(まき網漁船を含む)はスクラップ処理とする仕組みの構築など、適正な処理による漁獲能力の抑制・削減
13. カツオ資源を持続的に利用していくためのカツオの資源評価に関する研究の充実及び漁業管理の推進

2. 国際競争力強化対策の推進

1. 漁業者の経営基盤強化のための漁業構造改革総合対策事業の拡充・存続
2. 外国人労働力(特に外国人海技技術者)受入に関する規制の緩和
3. 日本人幹部船員(海技資格者)の確保対策及び外国人船舶職員の養成支援
4. 船上加工や省エネルギー化、漁労作業の安全化など新技術開発の推進及び省エネに関する新技術導入に対する支援
5. 外国200海里水域への入漁料、オブザーバー経費等の負担軽減措置
6. ミナミマグロ、クロマグロ漁場の代替漁場確保のための新たなメバチ・キハダ漁場の開拓に要する経費の助成

3. 金融対策等の拡充強化

1. 漁業緊急保証対策事業の継続・拡充
2. 公庫資金や漁業経営維持安定資金等、水産制度資金の拡充と弾力的な運用
3. 経営の改善が可能と見込まれる漁業者に対し将来の代船取得を円滑化するための資本金(劣後ローン)導入等金融支援の拡充
4. 経営の再建が可能と見込まれる漁業者に対し、過去債務の処理を促進するための金融支援の拡充
5. 経営の再建が困難な漁業者の経営資源(漁船・漁権)を適正に評価し、優良な経営体等に円滑に承継・集約化するための漁業再生基金等の仕組みの創設
6. 漁業用燃油高騰に対する金融支援の拡充

4. カツオ・マグロ類の魚価安定対策の推進

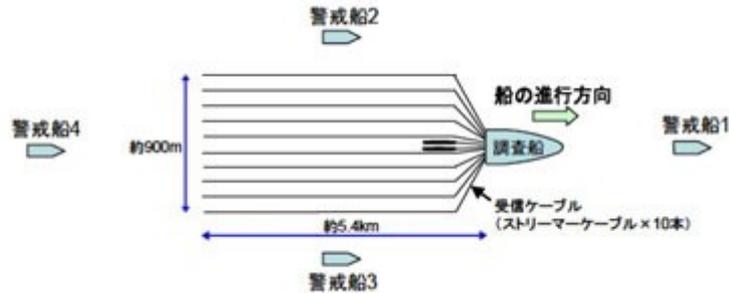
1. マグロ類の調整保管に係る国産水産物安定供給推進事業の弾力的な運用
2. 消費者に安全・安心なものを提供するためのトレーサビリティシステムの導入やブランド化、差別化の取組への支援
3. 外国市場開拓等による市場分散化の取組への支援やODA等の機会を活用した鰹缶詰の輸出促進

5. 国際漁場と安全操業の確保

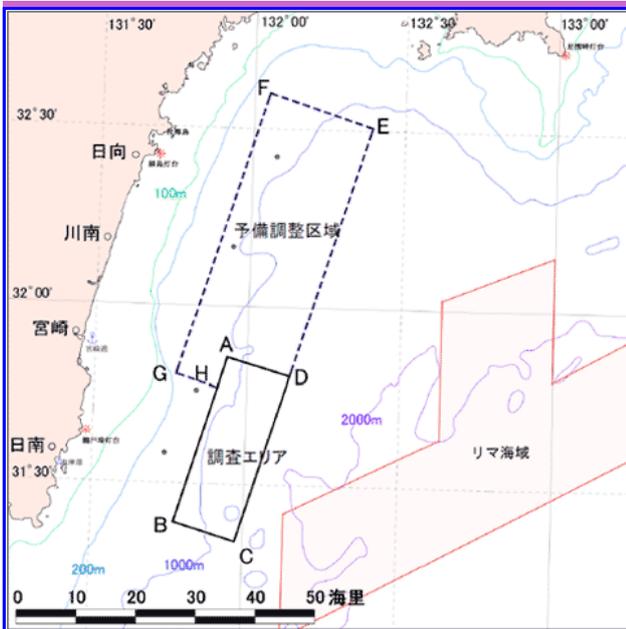
石油・天然ガス音波探査のお知らせ

1.調査内容

調査船『資源』がケーブル(長さ約5,400m×10本、水深8m)を曳航して調査をします。
調査時の船速は3~5ノットで、24時間連続で調査を行います。



2.調査海域



調査エリア(回頭エリア含む)

	緯度	経度
A	31° 51' 14"	131° 56' 03"
B	31° 23' 26"	131° 46' 24"
C	31° 20' 19"	131° 58' 27"
D	31° 48' 17"	132° 08' 20"

(世界測地系)

予備調整区域

	緯度	経度
A	31° 51' 14"	131° 56' 03"
D	31° 48' 17"	132° 08' 20"
E	32° 30' 30"	132° 23' 30"
F	32° 36' 00"	132° 03' 00"
G	31° 48' 25"	131° 46' 06"
H	31° 46' 12"	131° 54' 24"

(世界測地系)

(注) 予備調整区域ではケーブルの準備や荒天退避、機器メンテナンス等を行いません。

3.調査期間

平成21年12月20日(日)~平成22年1月31日(日)<予備日含む>

4.事故防止対策及び連絡先

調査中は、調査船の周辺に通常4隻の警戒船を配備し、相互の安全を確保します。

- 新竜丸698t 船舶TEL:090-3023-6541
- 富士山丸297t 船舶TEL:090-3023-5315
- 新雄丸280t 船舶TEL:090-3023-6027
- 第五海工丸499t 船舶TEL:090-3022-2159

本調査に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

宮崎県漁連 漁政課

TEL:0985-28-6111

三次元物理探査船運航管理共同企業体

船舶運航部 沖山 博和

調査計画部 森本 庄二 矢野 伸彦

TEL:03-3231-7651/FAX:03-3231-7652

平成21年度漁協税務研修会

漁 連は、平成21年度役職員研修事業の一環として、平成21年11月10日(火)、宮崎県水産会館において、県下漁協参事及び経理担当者28名出席のもと、漁協税務研修会を開催した。

今回の研修会の開催内容は、「平成21年度税制改正について」となっており、漁業協同組合に関連する項目を中心に説明が行われた。

また、近年、漁業協同組合等の経営にとって資産の自己査定が極めて重要となっていることから、資産の一部である繰延税金資産の資産性の検証方法を習得する目的として「税効果会計にかかる繰延税金資産の回収可能性の判断について」の説明も行われた。研修題目、講師については次のとおりとなっている。

1. 平成21年度税制改正について
講師 宮崎税務署 審理専門官 芳崎 貴氏
2. 税効果会計にかかる繰延税金資産の回収可能性の判断について
講師 全漁連 信用・組織指導部 主務役 深瀬 圭司氏



平成21年度漁協初級職員研修会

漁 連は、平成21年度役職員研修事業の一環として、平成21年11月26日(木)、宮崎県水産会館において県下漁協系統初級職員(採用後5年未満)26名出席のもと、漁協初級職員研修会を開催した。

今回の研修会の開催内容については、漁協系統職員においては基礎的な内容となっており、漁業協同組合の特性やその役割を学び、昨今のめまぐるしく変貌する漁業情勢においても的確に対応できる職員育成を目的に開催したものである。

研修内容については次のとおり。

1. 漁業協同組合について
説明者:宮崎県漁連 参事 妹尾秀彦
2. 宮崎県の漁業について
説明者:宮崎県漁連 指導部漁政課係長 谷口基
3. 漁協系統購買事業について
説明者:宮崎県漁連 業務部次長 長友和久
4. 漁協系統信用事業について
講師:宮崎県信用漁連 推進部推進課長 谷口幸宏氏

♪海とっしょに 浜とっしょに♪

元気に暮らそう JF共済

チョコ くらし カサデ リン

ねんきん 子育て なぎさ年金

漁業協同組合・JF共済推進本部

<http://www.kyosuiren.or.jp>



S S E Z S D B

系統石油タンク施設調査

県 漁連では、系統石油施設の安全確保のため石油事業の一環業務として、毎年自主点検による調査を実施しており、本年度も去る11月13日(県南地区)、17～18日(県北地区)、19日(県央地区)に石油タンク施設の調査を実施した。

これらの石油施設は危険物を取り扱うため、日頃より防災に努める必要があり消防法による法的規制を受け、消防署等の立入検査も定期的に実施されている。

系統の石油タンク施設は海岸に面して設置されており、塩害など直接影響を受けやすく予想以上のスピードで損害が進行するため、日常業務における施設の点検整備が必要不可欠である。

そのような状況の中で、県漁連は、毎年、各石油施設の管理について消防法に基づいて点検業務を実施し、系統石油施設の安全確保に努めている。

今回行った調査では、一部の施設の中で掲示板の破損、タンク本体の老朽化、消火器の期限切れなど見受けられた。

年々、担当者の危険物に対する意識が高まり多くの施設で改善が進んでいるが、未だ改善を要する施設も散見される。今後とも施設の日常業務での管理を徹底し、完全整備に努めて頂きたい。



宮崎県漁協系統購買事業推進委員会 委員・幹事合同会議

去 る平成21年11月30日に宮崎県水産会館4階第1研修室において、県北、県央、県南各購買担当の委員、幹事が出席のもと平成21年度第1回宮崎県漁協系統購買事業推進委員会委員・幹事合同会議が開催され平成22年度経済事業等協議された。

会議は桑畑委員長が「我々の漁家経営環境は長期に亘る魚価安の中、ここ数年の燃油コストの高騰を受け危機的状況が続いております。この為本会としては県を始めとする関係機関に対し、燃油対策を始めとする漁業支援策を陳情し経営収支の成り立つ漁協経営環境整備に引き続き努めてまいります。その為にも本会として浜の声を受け止め事業に反映させていきますので漁協もこれまで以上に系統購買利用促進をよろしくお願いします」と挨拶し委員・幹事の変更報告後協議に入った。平成22年度経済事業について石油、資材、販売、製氷、利用の各部門毎に取扱計画を協議し全部門承認された。



水揚荷捌施設落成式

南 郷漁協では、新しく建設した水揚施設・漁船員休養施設の落成式を11月27日関係者及び来賓参集のもとめいつ漁民センターにおいて執り行った。

旧水揚荷捌施設は、漁協の発展のために大きく寄与してきたが、老朽化が進んだため、新しい水揚げ荷捌き施設並びに漁船員休養施設を平成19・20・21年度種子島周辺対策事業により建設されたものである。

新水揚施設・漁船員休養施設の構造等は次のとおり

1. 規模・構造構造
鉄筋コンクリートPC造2階建 2,418.28㎡
一階 水揚荷捌施設 2,098.89㎡
二階 漁船員休養施設 319.39㎡
2. 場所
日南市南郷町 中村乙4614番地3
3. 工期
一期工事
自 平成19年12月16日
至 平成20年3月30日
二期工事
自 平成20年6月17日
至 平成20年11月30日
三期工事
自 平成21年6月15日
至 平成21年10月20日



役員候補者推薦委員選出協議会

漁 連では、監事一名の欠員が生じたことから、去る11月11日(水)に 役員候補者推薦委員選出協議会を開催し、6名の役員候補者推薦委員が決定され、同月18日(水)に役員候補者推薦会議を開催し、延岡市漁協代表理事組合長 谷口安博氏が役員候補者として推薦された。

JF宮崎漁連直営店

ぎょれん丸

魚乃里

年末・年始の営業の御案内
いつも当店をご利用いただきましてありがとうございます。
年末年始の営業につきまして御案内致します
・年末：12月29日(火)まで
・年始：1月5日(火)から
となっております。

宮崎県水産物 ブランド品が 食べたい!

【営業時間】
【直売所】 月～木 AM10:00～PM5:30
 金～日 AM10:00～PM8:00
【レストラン】
昼の部 月～木 AM11:00～PM2:30 (昼のみ)
夜の部 金～日 AM11:00～PM2:30
 PM 5:00～PM8:30

【問い合わせ】
〒880-0858 宮崎県宮崎市港2丁目6番地
TEL.0985-28-6114



限定生チリメン定食・釜揚げちりめん丼定食登場

本 誌の先月号にて新メニュー「魚うどん定食」をお伝えしましたが、さらに宮崎港にて水揚げされる「チリメン」を使った「限定生チリメン定食」「釜揚げちりめん丼定食」が登場しました。「限定生チリメン定食」は、水揚げがあった時のみの提供で、「これ以上新鮮なチリメンを他のレストランで食することはできない。」といっても過言では有りません。また「釜揚げちりめん丼定食」は、丼メニューの中でも一番の売れ筋となってきた。下の直販所でも「生チリメン」・「釜揚げちりめん」をパックにて販売、店頭に出してすぐ完売状態になる好評ぶりです。



限定生チリメン定食



釜揚げちりめん丼定食

人と自然との調和





漂白剤



薬用ソルトハミガキ

わかしお を使おう!

資材の購入はJFグループ(漁協・漁連・全漁連)へ

平成21年度水産試験場研究成果発表会開催 — 研究企画 —

日 頃から水産試験場の試験研究に御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。
水産試験場は、海面を担当する資源部、増殖部、生物利用部の3部と内水面を担当する1分場の体制で、資源部は「漁業の効率化と資源の適正管理のために」、増殖部は「豊かな海づくりのために」、生物利用部は「水産物の安全性と品質向上のために」、小林分場は「内水面の多面的機能の活用のために」をキーワードに試験研究に取り組んでいます。

平成21年度の試験研究課題は、20年度に「持続的生産技術開発」に関する研究2課題と「安全で安心して消費できる水産物の安定供給技術の開発」に関する研究5課題、「生態系や環境に配慮した生産技術の開発」に関する研究2課題、計9課題を終了させ、新たに、○主要浮魚類の資源生態に関する研究Ⅱ、○遺伝標識による高温耐性選抜手法の開発、○チョウザメ効率的種苗生産技術の開発、○漁場浄化複合型養殖技術の開発の4課題を加え、29課題の試験研究を実施しています。

平成20年度に終了しました9課題につきましては、生産者（漁協青壮年部連絡協議会会長、漁村女性連絡協議会）と、消費者、関連業界関係者、関係機関・団体関係者、学識経験者で構成されます宮崎県農政水産部試験研究評価検討委員会等において、これらの試験研究で得られた結果が、現場で求められている成果となっているかの審査を頂きました。

その結果、「ねらいどおりの成果があり活用が期待できるもの」6課題、「現段階では活用できないが継続することで期待できるもの」3課題と評価されました。

当試験場では、これら試験研究で得られた成果を現地研修会や漁業者の皆様方の勉強会、あるいは普及技術員を通して速やかにお知らせして、水産業の推進に活用していただけるよう努めているところです。

また、試験研究の成果を広く御紹介し、関係者の皆様方から御意見を直接いただき、今後の研究の推進に活用することを目的に、標記発表会を毎年開催しております。

今年度は、下記のとおり開催しますので是非、御来場ください。

なお、当日の午前中には、同じ所で第51回青年・女性漁業者交流大会が開催されます。

記

1. 日時

平成22年1月25日（月） 午後1時30分から午後3時30分

2. 場 所

水産会館5階 大会議室

3. 発表者並びに発表課題と概要（内容が一部変更されることがあります）

(1) 資源部 主任技師 福田博文

課題名: 日向灘におけるゴマサバの資源生態と漁況予測

～2010年夏期はゴマサバが好漁？～

概要: 2010年に日向灘でゴマサバがどれくらい獲れるのか!? その漁況予測の内容と根拠となる技術について発表します。日向灘におけるゴマサバの資源生態と漁業の関係を解析し、宮崎の水産業にとって重要な魚種であるゴマサバの漁況を予測する技術を開発しました。



ゴマサバ

(2) 増殖部 主任研究員 荒武久道

課題名: ウニと魚と下草がホンダワラ類藻場の形成に与える影響
～下草がホンダワラ類幼体を守る?～

概要: 串間市沿岸の藻場と磯焼け域における研究から考えられた藻場の維持機構は以下のとおりである。①ウニ類の生息密度が低いため下草が周年豊富である。②春～夏季に加入したホンダワラ類幼体は豊富な下草に紛れて生育するので植食性魚類による致命的な採食を受けにくい。③冬～春季には水温が十分に低下し、植食性魚類の採食が起こりにくくなるので、ホンダワラ類は生長し、藻場形成に至る。これらのことは、冬～春季に水温が十分に低下する場所では、ウニ類除去とホンダワラ類幼体の供給により藻場を回復できる可能性を示す。



(3) 生物利用部 主任研究員 米村輝一郎

課題名: オゾンナノバブルを利用した魚類防疫の技術開発

概要: オゾンを一定濃度以下で一定時間、ナノバブルに成形して飼育水中に滞留させ、その中でヒラメ等を飼育した結果、細菌性疾病防除及び寄生虫性疾病防除に効果があることが判明した。
今後、本技術の実用化に向けた試験研究を行うことにより、消費者ニーズに対応した安全・安心な養殖魚の生産技術の確立を目指す。



(4) 小林分場 主任技師 児玉龍介

課題名: 内水面魚類の遺伝的多様性の確保に関する研究

概要: 水産試験場小林分場では、陸封型の溪流魚であるヤマメを対象として、天然河川における遺伝的多様性を把握するとともに、放流によらない増殖手法の確立に取り組んでいます。今回は、これまでの研究で得られた成果と今後の展開についてご報告します。



※記載順は、発表順番とは異なることがあります。

研究員は日頃の成果を皆様方に御披露できる晴れ舞台と考え、張り切り、楽しみしておりますので、多くの方に来場して意見をいただき、有意義な発表会となることを期待しています。

11月の動き (県関係)

22日 食育・地産地消推進大会(宮崎市)



無線従事者募集

油津漁業無線局では下記資格を持った無線従事者を探しています。

資格

「第3級総合無線通信士」又は「第3級海上無線通信士」以上の無線従事者資格を有する者

採用年齢

長期勤続によるキャリア形成を必要とするため25歳以下

採用

1名

問合せ先

油津漁業無線局 TEL:0987-27-1151



漁青連幹部移動研修会



漁 青連幹部移動研修会は、平成21年11月6日(金)に宮崎県水産会館大研修室で40名が参加し開催された。講演では、宮崎大学フロンティア科学実験総合センター 中村 豊 氏の『カムリウミスズメの保護と環境保全について』の講演では、枇榔(びろう)島周辺のカムリウミスズメの生態とその保護について、枇榔島がカムリウミスズメの世界有数の繁殖地であることや、岩場の隙間で産卵を行い、ふ化後、すぐに海の方に移動を行う行動を示すことや、10年以上生存することが調査の結果分かったことなどが報告され、カムリウミスズメを保全しながら、人間との共生を図る必要性について講演された。

また、水産試験場の荒武久道主任研究員の『宮崎県海藻と藻場造成について』の講演では、本県海藻と海草の紹介と藻場の定義についてや、県内の藻場の状況を写真で説明があり、磯焼けの原因として、ウニ焼け、魚の過剰採食など、藻場が増えようとする力と、魚が海藻を食べようとする力のバランスが崩れた時に磯焼けになることであった。他にも、水温、栄養、光など諸条件があるが、人的制限ができるのは、ウニや魚に食べられにくくすることだと考えられる。漁業者が具体的に藻場造成に取り組む上で、必要な条件としては、(1)魚に食べられにくい場所の選定(2)ウニ・貝類を防ぐ(3)藻場形成まで集中管理を行うことで、できる場所で、できる海藻で、できる規模ですることが重要との話があった。

また、報告事項として、ドコモ モバイル株式会社の滝井課長から「緊急警報付防水携帯」の紹介及び、県水産政策課坂本企画担当主幹より、地域漁業経営改革支援事業についての紹介が行われた。

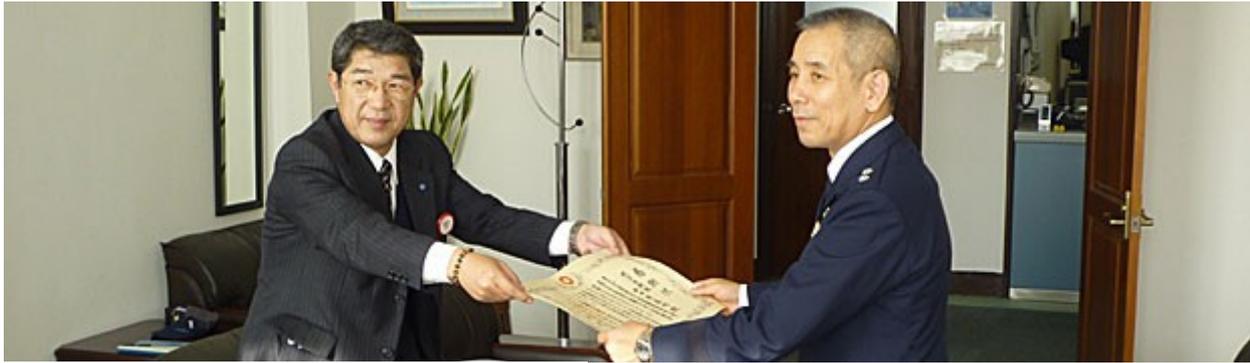


忘れてませんか？あなたの命を守る大切なもの。

救命衣、着用 していますか？

資材の購入は系統へ
漁協・漁連・全漁連

お問い合わせ先
宮崎県漁業協同組合連合会業務部 TEL 0985-28-6111



青い羽根募金 感謝状伝達式

平成21年11月25日、航空自衛隊新田原基地において、今年度の青い羽根募金に係る感謝状贈呈を行った。県漁連からは岩佐指導部長が、航空自衛隊 西部航空方面隊 第5航空団司令 兼 新田原基地司令の米沢敬一空将補に今年度の青い羽根募金に係る協力に対する御礼を述べ、感謝状を手渡した。



宮崎県漁協職員連 ボーリング大会

宮崎県漁協職員連絡協議会(委員長・谷口勝紀)は、11月14日(土)日南ボウリングセンターにおいて、県南地区漁協職連会員33名、11月28日(土)サンボウル延岡において県北地区漁協職連会員23名参加のもと、平成21年度宮崎県漁協職連ボウリング大会をそれぞれ開催した。結果は次のとおり。

地区	県北地区	県南地区
日時	平成21年11月28日(土)	平成21年11月14日(土)
場所	サンボウル延岡	日南ボウリングセンター
参集範囲	JF北浦～JF日向市	JF日南市～JF串間市
参加者数	23名	33名
優勝	甲斐守昭(JF延岡市)	阪元美紀雄(JF南郷)
2位	岩田和行(JF庵川)	草宮 透(JF南郷)
3位	横山幸三(JF庵川)	蓑部典正(JF南郷)
団体優勝	JF庵川	JF南郷

11月の動き

1日	お魚料理講習会(宮崎農業高校)	26日	初級職員研修会
1日	漁協税務研修会	30日	宮崎県漁協系統購買推進委員会 委員・幹事合同会議
6日	漁青連幹部移動研修会		

RELATED ORGANIZATION